

テキスト選択

リストからテキストを選択します。

基本情報

| | |
|----------|-------------------------------|
| カテゴリー | 選択 |
| 利用できるプラン | Standard, Premium, Enterprise |

アプリ

初期画面

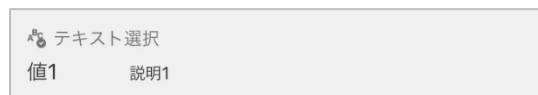
タップすると選択リスト画面が表示されます。



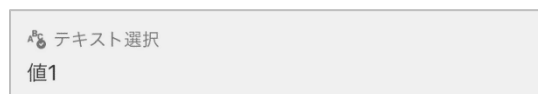
選択リスト画面



表示画面



高度なプロパティで「各値の説明を選択画面にのみ表示する」をオンにすると、表示画面では説明を表示しないようになります。



Platio Studio

値の編集

選択するリストを作成します。値の編集アイコンをクリックします。



「値の編集」画面が表示されます。あらかじめ3つの値が設定されているので、それを編集するか、または削除して最初から追加し直します。



新しく追加するには、値と説明を入力して「追加」をクリックします。
値は 64 文字以下、説明は 256 文字以下で入力します。説明は省略可能です。



一括登録

値と説明を csv 形式のファイルで用意してインポートすると、一括で登録することができます。

「値の編集」画面で「インポート」をクリックすると「値のインポート」画面が表示されます。csv 形式の例を参考にしてあらかじめ CSV ファイルを作成してください。

インポートすると、登録済みの項目がすべて削除されるので注意してください。

値のインポート

csv形式のファイルをインポートすることができます。インポート可能なファイルの最大サイズは1MBです。**現在の値は、全て削除されますのでご注意ください。**

例

```
"値1","説明1"  
"値2","説明2"  
"値3","説明3"  
"値4","説明4"  
"値5","説明5"
```

インポートするファイル

エンコーディング

基本プロパティ

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」URL】

https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf

| | |
|---------------|--|
| 検索可能 (※) | データポケットの一覧シーンで、検索アイコンをタップするときに検索対象にするかどうかを指定します。 |
| ソート可能 (※) | データポケットの一覧シーンで、ソートアイコンをタップしたときにソートするかどうかを指定します。 |
| 値の重複を許さない (※) | データポケットの入力・編集シーンで入力するときに、同じデータポケット内で既に入力された値のとの重複を許すかどうかを指定します。(副データポケットを含む) |
| 必須 (※) | データポケットの入力シーンで入力するときに、入力を必須にするかどうかを指定します。 |
| 初期値 (※) | データポケットの入力シーンで入力するときに初期値が入力されているようにする場合に、初期値を設定します。 |

高度なプロパティ

「高度なプロパティを表示」をクリックしたときに表示されます。表示した後、隠すには「高度なプロパティを隠す」をクリックします。

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」URL】

https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf

| | |
|-------------------|--|
| 各値の説明を選択画面にのみ表示する | 説明を選択画面にのみ表示するかどうか指定します。 オフ：説明をフィールドと選択画面に表示します。(初期値) オン：説明を選択画面にのみ表示します。 |
| 初期値 (※) | データポケットの入力シーンで入力するときに初期値が入力されているようにする場合に、初期値を設定します。 |
| 説明 (※) | データポケットの入力・編集シーンで、フィールド名の下に表示する説明を記述します。 |
| 絞り込み | 親フィールドを指定して、親フィールドで選択した値を元に表示するリストを絞り込むかどうか指定します。 なし：絞り込みしません。(初期値) 親フィールド：親のテキスト選択フィールドによって絞り込みします。 |
| 色 (※) | データポケットのレコード入力・表示・編集画面と一覧画面で、フィールドの表示文字の色を指定します。 |
| 背景色 (※) | データポケットのレコード入力・表示・編集画面と一覧画面で、フィールドの背景色を指定します。 |
| 条件付き表示 (※) | データポケットの入力・編集シーンで、フィールドを表示する条件を指定します。 |

親フィールド

2つのテキスト選択フィールドを使って、選択された値によって選択するリストを絞り込むことができます。例えば、大項目 A に小項目 A1,A2、大項目 B に小項目 B1,B2 のように入れ子関係のあるリストがあります。

例：

親リスト

A

B

C

入れ子リスト

A | A1

A | A2

B | B1

B | B2

C | C1

C | C2

Platio アプリで操作するとき、データポケットで先に親フィールドで値を選択し、次に子フィールドでは親フィールドで選択した値によって絞り込まれたリストから値を選択して登録します。

※ 親フィールドを選択しない場合、子フィールドの選択リストの項目は表示されません。

① 親フィールドで値を選択









② 子フィールドを表示して、親フィールドの値で絞り込まれたリストから値を選択



例のようなデータポケットを作成するには、Platio Studio で、2つのテキスト選択フィールドを追加したデータポケットを作成してリストの値を設定します。下記のように値の編集画面でそれぞれに親フィールドの値と、入れ子の値を設定します。



















※ 親リストにできるのは「テキスト選択」フィールドのみです。

【親フィールドの値】

| 値の編集 | |
|------|---|
| 親A |    |
| 親B |    |
| 親C |    |

【入れ子にするフィールドの値】

入れ子の値は「親の値 | 子の値」のように間を”|”で区切ります。

| 値の編集 | |
|-------|---|
| 親A A1 |    |
| 親A A2 |    |
| 親B B1 |    |
| 親B B2 |    |
| 親C C1 |    |
| 親C C2 |    |

以上で設定が完了します。